

マリントライフ

[Vol. 286]

令和7年度
「ふるさとの自然」
作品コンクール

入賞者決定!

優秀作品



カメノテ
濱崎 柑奈



クロヘリアメフラシ
山本 杏



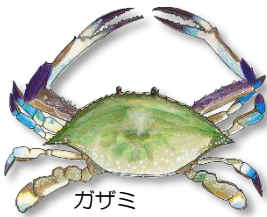
マアジ
片山 凜香



イボニシ
富田 紗菜



コウイカ
迫田 倅芽



ガザミ
ARADANAS
NISHIKO NISHI



カワハギ
森下 湊太



スナイソギンチャク
内土井 月姫



マヒトデ
高橋 晏



キュウセン
中野 玲桜奈



ホニヤドカリ
中野 哲翔



カブトガニ
中西 一止



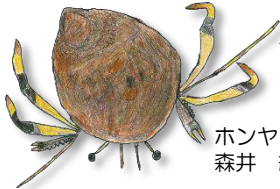
ホソウミニナ
米原 葉奈



ゴンズイ
高田 麟太郎



ヒラソガニ
中川 志貴



ホニヤドカリ
森井 純花



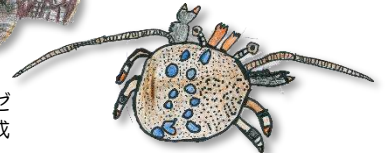
マナマコ
小島 碧心



アカニシ
石津 樹一



オニオコゼ
古澤 海成



ホニヤドカリ
相馬 恵美

応募総数829点!

江田島市周辺にすむ海辺の生き物の絵画を募集する、「ふるさとの自然」作品コンクール。今年度は、829点の応募がありました。本当にありがとうございました。審査は、小学校低・中・高学年、中学校の4部門に分けて行い、応募作品の中から入賞作品80点（優秀20点、入選60点）を選定し、表彰させていただくことになりました。どの部門も年齢に応じた力作ばかりで、題材をしっかりと観察して細部まで描きこんだ正確なデッサンと繊細な色使いで、今にも動き出しそうな迫力満点な作品ばかりでした。

入賞作品は、今後、各種イベント会場やさとうみ科学館内で展示し、多くの方にご覧いただく予定です。また、入賞作品を掲載したカレンダーも現在制作中です。完成後は各小中学校や市内公共施設へ配布・掲示を予定していますので、ぜひご期待ください。

◆ 第211回自然観察会（特別研修会）のお知らせ ◆

大学や博物館などを訪ねて、本物の現場で学ぶ特別研修会。今回は広島市水産振興センターを訪れ、牡蠣養殖のひみつにせまります。カキがどのように育てられるのか、昔から続く養殖の工夫や、海の環境を調べる仕事について、専門の方から直接お話を聞きます。さらに、魚を育てて海へ放流するための種苗生産施設も見学します。広島の自然と人のくらしがどうつながっているのか、実際に見て・聞いて・学びましょう。



水産振興センター（資料展示室）の様子

当日のスケジュール

- 13:00 ● **集合 & 出発!**
さとうみ科学館に集合
借上バスで移動
- 14:20 ● **水産振興センター到着**
- 14:30 ● **「牡蠣養殖のお話」**
牡蠣養殖のしくみについて知ろう
- 15:00 ● **資料展示室見学**
広島に生息する魚介類展示や
牡蠣養殖のミニチュア模型があるよ
- 15:30 ● **種苗生産施設見学**
カレイの赤ちゃんを見られるかも
- 16:00 ● **見学終了・
水産振興センター出発**
借上バスで移動
- 17:30 ● **到着 & 解散**
さとうみ科学館で解散

(バスでの移動は、70～90分程度を想定しています。)



牡蠣収穫の様子（江田島市）

(※今回の自然観察会では、収穫現場の見学は行いません。)

「牡蠣養殖を知ろう」

広島の海を育て海の仕事を支える施設見学!

日時：令和8年3月27日（金）
13:00 ～ 17:30

場所：広島市水産振興センター
(広島市西区商工センター八丁目5番1号)

集合：さとうみ科学館 駐車場 13:00
※さとうみ科学館⇄センターは、借上バスで送迎します。

定員：小学生以上（先着30名程度）保護者含む
※ただし、申込多数の場合は、小中高校生を優先とします。

申込：3月23日（月）までに電話にて、
事務局へお申し込みください。

公益財団法人広島市農林水産振興センター

「広島市水産振興センター」について

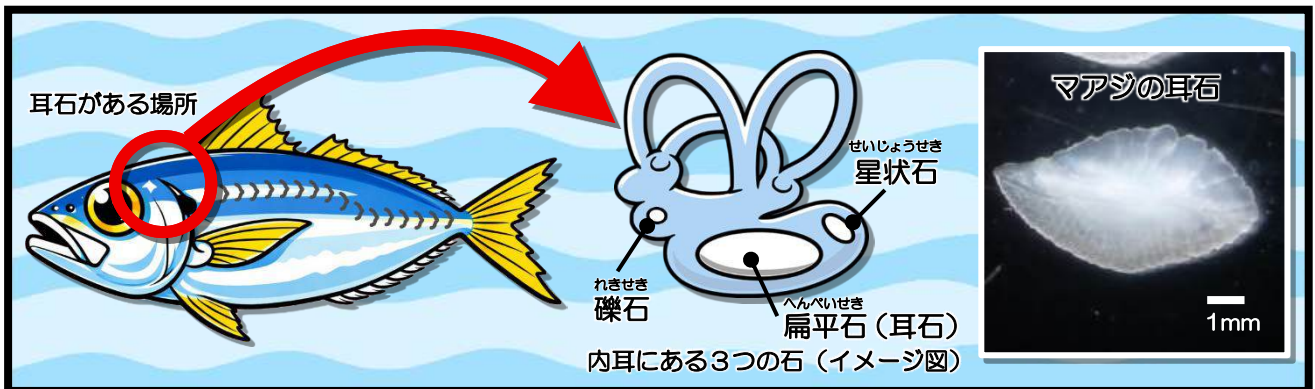
水産振興センターは、「広島市域の水産業の振興を図るため、漁場環境等の調査を行い漁業者に情報提供や指導・助言をするほか、魚介類の稚魚等の生産や、魚と漁業の資料展示室で市民に広島市の水産業を紹介する仕事を行っています。(水産振興センターHPより)」



やってみよう 見てみよう

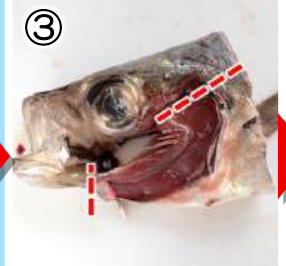
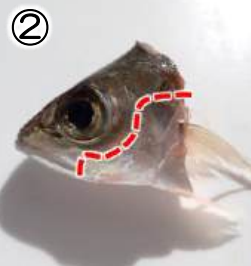
「耳石を取り出す」の巻

耳石（じせき）は魚類をはじめ、脊椎動物（背骨がある動物）の耳（内耳）の中にある硬い組織です。体のバランスをとったり、音や振動を感じたりする役割があります。特に魚の耳石は大きいものが多く、例えば体長約150mmのマアジには約7mmの耳石があります。そのため、顕微鏡が無くても見つけることができます。また、魚種によって形が異なり、耳石の形だけで種類を特定できるものもあります。魚類の耳石は煮たり焼いたりしても残るため、食事をしたついでに探してみてもいいかもしれません。



◆耳石の取り出し方（マアジ編）

① 胸びれの位置で縦に切り、魚の頭と体を分ける

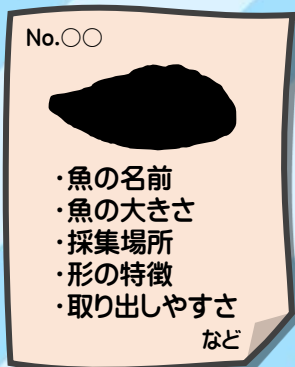


一般的に耳石は目の後ろ（脳の後方下部）にあります。魚の種類や大きさによって耳石の場所や大きさ、骨の硬さなどが少しずつ異なるため、取り出し方は今回紹介した方法に限らず他にもあります。いろいろ試しながら、それぞれの魚に適した耳石の取り出し方を探してみましょう。

◆ 他にもあるよ!! Let's Try! ◆

「耳石図鑑を作ろう」

耳石を取り出すことができれば、ぜひ記録に残してみよう！



耳石はとても小さく、最初はただの白い石に見えるかもしれませんが、種類ごとに形は異なり、丁寧に観察するとそれぞれに個性があります。丸いもの、細長いもの、角ばったもの、並べて比べていくと、まるで貝殻や鉱物を集めているような楽しさがあります。

耳石の形は、魚の種類ごとにほぼ決まっています。そのため多くの耳石を見て形を覚えていくと、やがて耳石だけから魚の種類を推測できるようになるかもしれません。

さらに種類によっては、耳石の表面に成長の記録が輪紋（りんもん：木の年輪のようなしま模様の線）として現れるものがあります。これを読み取ることで、その魚が何歳まで生きたのか、どの時期に成長が速かったのかなど、魚が生きていた時の情報を知ることができます。耳石は単なる標本ではなく、魚の一生を語る記録でもあります。

さまざまな耳石を集めて見比べていくほど、新しい発見がきっと増えていくでしょう。「耳石図鑑作り」は、観察する楽しさと研究する面白さの両方を味わえる、奥深い探究なのです。

◆ 掲示板 ◆

「えたじま地域づくり 実践者報告会」開催!

3月14日、大柿市民センターで「第6回えたじま地域づくり実践者報告会」が開催されます。この報告会では、江田島市で活動している市民団体や高校生、地域おこし協力隊が、どのような取り組みを行っているのか、活動の中での工夫や思いなどが紹介されます。

当日は、さとうみ科学館で地域おこし協力隊として活動している向井綾香さんも、活動1年目を振り返りながら里海コーディネーターとしての活動についてお話しします。2年前まで関東で仕事をしていた向井さんが、江田島に来て感じたことや、実際に活動する中での苦労や嬉しかった経験、これからの目標について語ります。

どなたでも自由にご覧いただけます。ぜひ気軽に参加してみてください。

第6回
えたじま地域づくり
実践者報告会

江田島のあちこちで生まれた「小さな挑戦」や、地域を揺る人たちのリアルな活動を
お届けします。ぜひお気軽に観覧に来てください!

日時・場所
令和8年 大柿市民センター集會室
3月14日(土) 13:30~16:00
(途中入場自由)

プログラム: 地域実働型活動支援補助金採択団体・広島県立大柿高等学校自然科学部・
地域おこし協力隊活動報告、参加者交流

どなたでも自由にご覧いただけます。

主 催: 江田島市 地域支援課・企画振興課
問い合わせ: 0823-43-1637 (地域支援課まちづくり係)

潮見表 3月の観測に適した日時 (干潮時刻と潮位)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
時分	2:08	2:55	3:34	4:10	4:43	5:14	5:43	6:11	6:40	7:11	7:50	9:00	12:54	13:40	1:13	
cm	26	6	-4	-3	8	27	51	78	107	137	166	191	183	157	88	
時分	14:51	15:26	15:59	16:31	17:02	17:31	17:59	18:26	18:54	19:25	20:07	21:23	23:54		14:09	
cm	101	76	56	42	33	29	31	38	51	70	92	112	111		131	
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
時分	2:01	2:39	3:15	3:51	4:26	5:02	5:38	6:16	6:56	7:46	9:11	11:48	13:04	0:54	1:50	2:34
cm	60	36	18	10	13	26	50	81	117	153	181	176	146	70	51	38
時分	14:37	15:07	15:38	16:10	16:43	17:17	17:52	18:29	19:10	20:02	21:30	23:32		13:48	14:25	14:58
cm	104	77	51	28	10	0	-1	9	29	57	84	87		113	84	59

cmの数字が小さいほど、よく潮が引きます。

令和7年 潮汐表(海上保安庁)から

潮位30cm未満(白抜きの文字)が調査に適しています。

事務局だより

●古鷹ふれあいまつりで「ものづくりコーナー」出展!

3月8日(日)、江田島市民センター別館で開催される「第5回 古鷹ふれあい祭り」の特設コーナーとして、さとうみ科学館の出前展示を行います。「科学おもちゃのものづくり」コーナーと、令和7年度「ふるさとの自然」作品コンクールで入賞した作品を「絵はがき」サイズに印刷した「海辺の生き物イラスト展示」コーナーを予定しています。開催時間は9:00~15:00です。ぜひお越しください!!

●ニュースレター(カラー版)

右のQRコードよりさとうみ科学館のHPにアクセスいただくとニュースレターをカラーでご覧いただけます。最新号の他に過去6か月分のニュースレターを掲載しています。



●休日開館日(3月)のお知らせ

3月も毎週土曜日を開館します。開館時間は9:30-17:00(入館は16:30まで)です。詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。

江田島市教育委員会 教育部 大柿自然環境体験学習交流館

さとうみ科学館 Satoumi Science Museum (SSM)

〒737-2214

広島県江田島市大柿町深江1073番地1

TEL:(0823)57-2613

FAX:(0823)40-3100

メール:satoumimail@yahoo.co.jp

HP:『さとうみ科学館』で検索

◆事務局スタッフ◆

館長:西原 直久
専門員:平山 良太
主任:鎌崎 賢三
運営指導員:下中 茂樹
運営指導員:加島 茂樹
支援員:木村 さつき
里海コーディネーター:向井 綾香



(友の会会員)

シニア 182名

ジュニア 143名

◆あとがき◆ イラストコンクールの応募作品を見ると、中学生の描写力の高さや小学生の表現の豊かさに驚かされます。それぞれの作品からは、描き手がどこに注目して観察したのかがよく伝わり、生き物の新しい魅力に気づかれます。(鎌崎)